

◀ 2015年08月 ▶						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

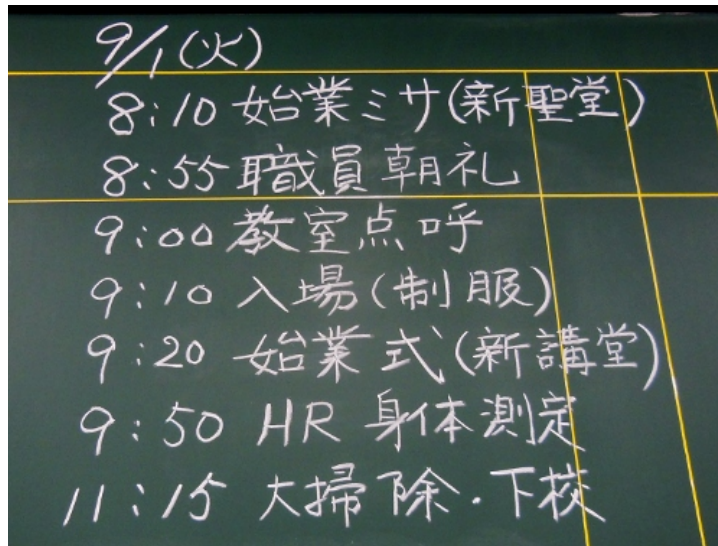
学校便り

トップ > 学校便り記事一覧

8月は夢花火…♪ 私の心は…？

2015年08月31日

さあ、明日から2学期が始まります！ せっかく一生懸命仕上げた宿題を忘れないように！



始業ミサは新聖堂（アシジの聖フランシスコ聖堂）で行われます。素晴らしいステンドグラスを見に、ぜひ参加しましょう。

今日は教職員へのアルベ講堂のお披露目がありましたが、明日の皆さんの楽しみがなくなってしまうので写真は一枚だけ！



それでは明日、日焼けした元気な顔で集まりましょう！

◀ Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

東北ボランティア G隊 活動最終日

2015年08月28日

活動最終日の4日目。

今日は、南三陸での漁業支援と気仙沼での海岸清掃に分かれての作業でした。

これで4日間にわたるボランティア活動は終わります。ここで得た貴重な体験を、広島のみなどと分かち合い、これからの支援に繋げていけたらと思います。

(写真は気仙沼での作業の様子)



[生徒の感想]

この東北ボランティアを通して、一つ気付いたことがあります。それは被災された方々の笑顔です。震災で悲しい思いをされているにも関わらず、その笑顔は僕たちより輝いていました。僕たちは笑顔で、勇気と自信をもらいました。ボランティアに行った僕たちが、むしろ被災された方々に助けられたのです。僕は今回のボランティアを体験して、もう一度ボランティアに参加したいと思いました。東北の方々の力に少しでもなれるのであれば、僕は何度でも戻って来ると思います。

◀ Tag 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

どこ？ハワイ？

2015年08月28日



…毎年実施される生物部の夏期遠征です。



56期 高2部員にとっては最後の遠征となります。
しみじみと朝日の昇る海を見つめる高2…（実は眠くて意識が朦朧）

頼りになる学年…

「来年すでに浪人が決まっていたら来ていいよ！」というと…

「たぶん全員来ます！」という…全然頼もしくない返事が返ってきました…

Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

東北ボランティア G隊 3日目

2015年08月27日

ボランティアにも、ベースにも慣れてきた3日目。

今日は、農業支援に行ってきました。色々と農家の方に教えてもらいながら、活動しました。

【生徒の感想】

今日は農業支援を行った。作業内容はトマト、キュウリ、当帰(トウキ)の収穫、トマトの剪定、畝の立てなど多岐にわたり、充実した1日を過ごすことができた。

作業後、防災庁舎へ行った。被災した方々の冥福を祈るとともに、地震、津波の恐ろしさを再確認することができた。明日で作業も最後だ。悔いの残らないように、精一杯頑張りたい。



Tag 2015年8月

[詳細を見る](#)

東北ボランティア G隊 2日目

2015年08月26日

今日は、3隊に分かれてのボランティアです。

一つは、先日と同じ昆布結び。一つは、ワカメ切りと仮設住宅の草刈り。もう一つは、仮設住宅に住んだおられる方々との交流です。

【仮設住宅での交流に参加した生徒の感想】

今日は、菊を栽培している農家の方の協力で、生花をしたりして、交流を行った。

交流の場となった仮設住宅の一室の壁には、笹の葉を模したカラフルな短冊が飾ってあった。それには、『ここに住む皆さんと、仲良く健康で暮らせますように』といった内容の願い事が多く書かれていた。震災によって大切な知人を亡くされた方々にとって、人とのつながりはより特別なものになっているのだと思う。これからの活動において、人のつながりを大切にしながら、一生懸命やっていきたい。



Tag 2015年8月

[詳細を見る](#)

東北ボランティア G隊 初日

2015年08月25日



昨日より、広島学院高1ボランティアリレーのG隊が米川に入りました。今日から、南三陸町を中心として、ボランティアが始まります。生徒たちは意気揚々です。



初日の今日は、漁業支援に行ってきました。
作業は昆布を巻く作業。慣れない手つきで、作業を進めて行くうちに、だんだんはまっていき、最終的には、15キ口を超える昆布巻きを作ることができました。



作業の最中、漁師さんが、被災した日の状況や現在の生活のことなどを話ってくださいました。

【生徒の感想】

僕が、今日の作業を通じて感じたことは、現地の漁師さんがとても明るかったということです。僕はボランティアに助けを求めている人は、辛く悲しいあの震災で傷を受け、立ち直れずにいる人だと思っています。

した。しかし、今日のお世話になった漁師さんは、終始笑顔で色々なお話をして下さいました。僕たちはその方の傷を知ることにはできない。でも、お話を聞くことによって、一緒に笑い、その痛みを少しの間だけでも忘れてもらうことはできる。そう感じた1日でした。

◀ Tag 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

東北被災地ボランティアE隊報告

2015年08月24日

17日から22日まで、高校1年生（57期）の5名が、カリタスジャパンの米川ベースでお世話になりながら、主に、南三陸町でボランティア活動をしました。

活動1日目（18日）は、漁業支援、農業支援、学習支援に分かれました。漁業支援で活動した生徒の振り返りです。

南三陸町志津川にて、ある漁師さんのコンブ、ワカメの出荷作業を手伝いました。主にコンブを結ぶという作業で、学院生以外の方も合わせて9名で活動しました。その漁師の方はとても明るい方で、いろいろな話をしてくれました。午後になると、震災の話もされましたが、その中で心に残ったことがあります。その漁師さんが、ある学校に講演に行った時、予め台本を書き、「ここで泣いたりする」などと考えていたらしいのです。しかし、実際、講演を始めると、途中で言葉が出なくなったそうです。明るいその漁師さんが抱えているものの重さを感じました。カリタスの方によると、その方が震災の話を読んだのは、今日がはじめてだったそうです。僕たちに話して下さった意味を考えながら、残りの日を過ごしていきたいです。

なお、この日の農業支援の活動については、「南三陸農工房」さんのFacebook（8/18）に写真つきで紹介されています。

活動2日目（19日）は、全員で農業支援に向かいました。生徒の振り返りを2つ紹介します。

今日の主な活動は2つ。ひとつは農地再生として、土の中に埋まった石や岩を掘り出す作業でした。ピックルや鶴嘴を使って土をかき出し、中の岩を砕きながら取り除きました。最初はコツが分かりませんが、一時間も経てば、体が自然に慣れてきました。最後の方は作業が苦にならず、楽しみながら進めることができました。結果としては一日かけて2mほどしかすすみませんでした。スタッフの方が、農地として整えられたはずの土地で、ボランティアの力で石拾いをしなければならない事情を話してくださいましたが、行政の対応など、考えさせられることが多くありました。

ベースに帰ってからは、地元の方との交流を深めるためにバーベキュー大会がありました。初対面の方とも気兼ねなく話すことができ、人とのつながりを認識に、あたたかみを実感しました。話を聞かせていただいていると、震災当時の辛い記憶を僕たちに教えてくださる場面が何度もありました。その時の辛そうな顔を見ると、まだ傷が心の底にあるのではないかと感じました。

今日は農業支援としてビニールハウス内の石、岩の撤去の作業をしました。最初に、スタッフの方の、「こういうのは普通業者さんがやるのだけど、宮城は福島よりましだろうと言われることもあり、なかなか声があげられない」という話を聞き、衝撃を受けました。そのような所で、少しは役に立てているかなと感じました。

帰りには、津波の被害にあった大川小学校に連れて行っていただきました。写真とは違い、当時の状況のひどさが伝わってきました。慰霊碑を見ると、小さな子供の名前が刻まれているのを見て、まだ人生が始まったばかりだったのにと非常にショックを受けました。今、自分が日々の生活で苦しいと感じることも含めて、人生を大切にしなければいけないと強く感じました。失礼かもしれませんが、見られてよかったですと思いました。



活動3日目(20日)は、農業支援と学習支援に分かれました。農業支援に行った生徒の振り返りです。

昨日と同じ場所での作業でした。土の表面の石を拾っていくものだったのですが、ある会社からたくさんのボランティアの方が参加していて、はかどりました。東北のことを想っていてくれる人があんなにたくさんいると思うと、自分ももっとがんばらなければと励みになります。作業場への道の景色は見慣れてきましたが、震災直後はもっとひどかったと思うと、胸が痛くなります。

なお、この日は、甲子園の決勝。仙台育英と東海大相模の対戦がありました。生徒がこんな感想を書いています。

米川ベースには様々な出身地の人がいます。その人たちが全員で仙台育英の応援をしたのです。ボランティアの人々の一体感を肌を感じ、とても感動しました。様々な土地の人々と一つ屋根の下で暮らすという普通ではできない貴重な体験をすることができました。

活動4日目(21日)は、気仙沼での側溝の清掃と、南三陸でのネギ畑の整備に向かいました。後者の活動に参加した生徒の感想です。

2度目の在郷での活動でした。ビニールハウスからの石の撤去ではなく、ネギ畑の草取りと石拾いをすることになりました。草は多く、抜くのは大変でした。後半は慣れてきてスムーズに作業を進めることができました。実際に東北に来てみて、壊れてしまった建物や防波堤を見て、実際、あの日、あの場所で生き残った話を聞き、触れ合うというのはなかなかできることではありません。本当によい経験になりました。

気仙沼での活動の感想です。

(今日の活動は、広島のと砂災害の際に参加した)八木でのボランティア活動に似ていました。その際は、まだ、ただの作業としか感じなかったのですが、今回の活動で、皆さんが明るく、質問などいろいろとしてくださり、「ああ、ボランティアってこういう交流や関わり合いがすばらしいな」と実感できました。この5日間、後悔一つなく終えられたなと思います。





最後に、現在の東北の復興状況に関する生徒の感想がありますので、ご紹介します。

今、耕作されている耕地は震災前の0.5%に過ぎないとのこと。また、岩や石があるため田んぼにできず、葉野菜しかできないとのこと。…震災から4年経ち、世間では復興は進んでいるものと考えられていますが、現実はこのような状態なのです。これからも継続した支援が必要だと思いました。



◀ Tag 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

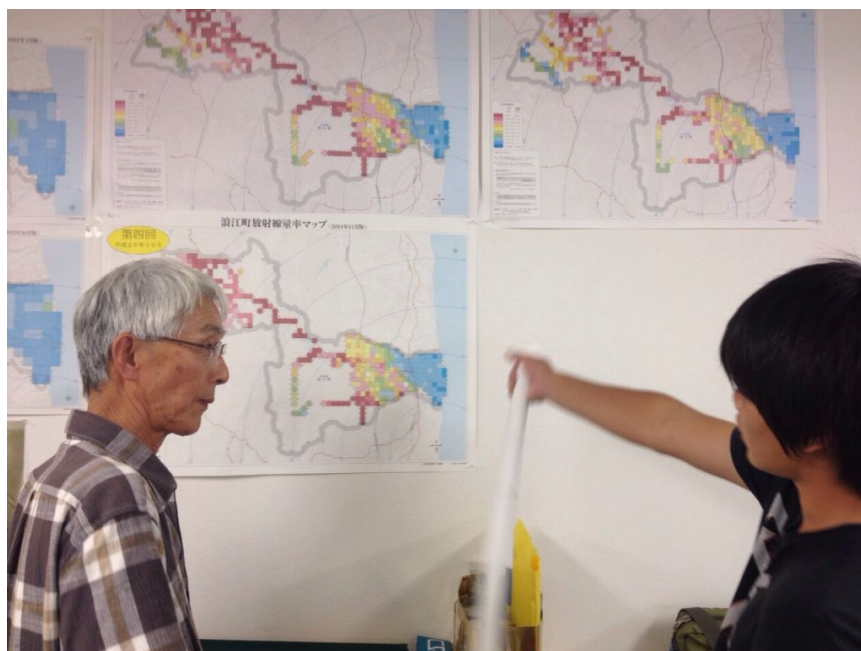
南相馬F隊 活動4日目

2015年08月22日

本日も夕刻まで南相馬市小高区の民家でお手伝い。その後、放射能測定センター南相馬（とどけ鳥）を訪問。この施設は、福島第一原発周辺地域の放射線量を定期的に行って線量マップを作成したり、農作物の線量測定を無料で行っています。正しい科学的な情報に基づいた判断の大切さや放射能と隣り合わせに生活することの生き辛さを学びました。

F隊の主な活動はほぼ終了しました。南相馬でお会いした全ての皆さん、カリタスのスタッフ・ボランティアの皆さんのおかげで、かけがえない経験を積むことができました。本当にありがとうございました。帰広後、多くの人に見聞きしたことを伝えることができれば、と思います。





◀ Tag 2015年8月, 生徒の活動

[詳細を見る](#)

映画…&南相馬F隊

2015年08月21日

学校のプールでは日仏共同制作の映画撮影が行われました。



わずか3分あまりのシーンに10時間近くかかるのですね…

俳優さんたち(特に細い女優さん)は寒かったようで、この時期にはつけないサウナをつけました。
いい作品になりますように… (〇〇〇映画祭?)

.....

南相馬の阿部先生から今日の報告です、

毎朝、近くの仮設住宅のラジオ体操に参加しています。



来週から学校が始まる子供達にとっては、今日が夏休み最後のラジオ体操。ご褒美に、仮設にお住いのおじいちゃん手作りのペットボトル作品が配られました。



今日も二手に分かれて活動しました。第1グループはさゆり幼稚園のお手伝い。





第2グループは、小高区の民家2軒のお手伝い。



明日は南相馬市での活動最終日。ここで、出会った方々、学んだことを思いおこしながら、精一杯頑張ります。

◀ Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

福島便り…

2015年08月20日

東北ボランティアF隊 昨日の続きです…

◎ 双葉町

…立入禁止の柵の内側には『**原子力明るい未来のエネルギー**』の横断幕…



◎富岡町

…日に日に数を増す放射能に汚染された土の土嚢…



◎南相馬市鹿島区

…（宮城県陸前高田のものが有名ですが…）こちらは福島県の『奇跡の一本松』…



津波・原発事故の爪痕を目の当たりにした後、
仮設住宅のサロンで、入居者の方々のお話を伺いながら、ストラップ作りのお手伝いをしました。



////////////////////////////////////

今日は、二手に分かれて、南相馬市内で活動しました。

第一グループは、避難指示解除準備区域の小高区の民家で、家財道具の整理・廃棄処分・清掃・庭の草抜き等を行いました。

家主さんは、81歳の女性。震災後、神奈川のお嬢さん宅に避難していましたが、まもなく小高に帰ってこられるので、その準備のお手伝いです。



こうした活動は、見返りを求めないことが大前提ではありますが、それでも作業終了後、家主さんから暖かな感謝のお言葉をいただくと、喜びが心から湧いてきました。

第2グループは、さゆり幼稚園のお手伝い。この幼稚園は、3人の先生だけで通常運営されています。



園児達は、若いお兄さんの登場に大はしゃぎ。学院生にとっても、楽しいひと時になりました。

…遊んでいる、というより、遊ばれているか!?

Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

原発まで…2.5km

2015年08月19日

南相馬F隊引率の阿部先生からの報告です。

.....

福島県南相馬市入りしたF隊。本日は、午前中、南相馬の歴史探索、震災・原発事故の現状視察を行い、午後は仮設住宅のサロンを訪問しました。

相馬家当主代々のお墓のある同慶寺。このお寺とカトリック教会は宗教宗派を超えて、被災地支援の活動を行っています。



相馬野馬追の神髓・野馬懸（上げ馬の神事）が行われる小高神社



福島第一原発より6km地点。南相馬市小高区と浪江町の境にはバリケード。



その周辺には、放射能に汚染された牧草地で300頭を越える牛の命を守り続ける牧場がありました。



昨年開通した国道6号線を通して、浪江町→双葉町→大熊町→富岡町と、南下しました。この道路は現在、誰でも通過できますが、この区間では車の停車・下車はできません。



福島第一原発より2.5km地点を通過。車中より原発を遠望した際は、誰もが思わず息をのみました。



この続きはまた明日…

◁ Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

久しぶりに…学校からです。

2015年08月12日

前庭の南側には立派なフェンスとネットが設置中





これではなかなかホームランが出ませんね…

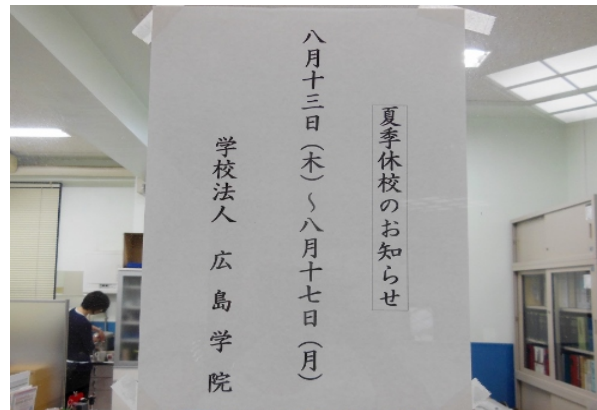
サッカー部…昨日は九州、今日は岡山・鳥取、遠くから試合に来られます。



今日は炎天下でなくてよかったですね。

.....

学校も明日からお盆休み……そういえば、宿題は大丈夫ですか？



お母さんに「高温注意情報」が出そうですね？
生徒のみなさん…お母さんをヒートアップさせないように、宿題は計画的に!!

Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

東北ボランティアC隊報告

2015年08月11日

東北ボランティアC隊の報告です。
1日目は広島より米川ベースへ移動して1日を終わりました。

2日目は4つのグループに分かれて活動しました。
高齢者の方とお茶の時間を共にし、会話する。その後、障害を持つ子供の方と一緒に遊ぶ。
ホタテ養殖に使う縄のピン取り
牡蠣養殖の支援 (該当生徒なし)
苺農家の支援 (該当生徒なし)

O君の振り返りより…

何も建ってなくて、復興しているといえど、まだ街が形成されていないところが多くあるのだなと思いました。

はじめ、どう接したらよいか悩んでいたが、話しているのを見て、あたたかく迎えてもらう事が出来ました。子供は本当に元気だなと感じました。

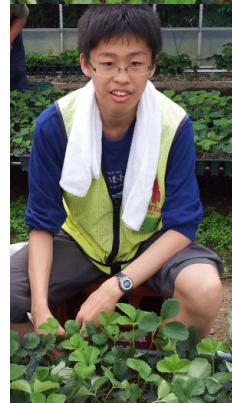
ホタテ養殖の縄のピン取り/入れの作業の様子です。



別のグループは、作業後に海を見に行きました。綺麗な海ですが、津波が襲ってきたと思うと恐ろしい…という人もいました。

3日目は、2つのグループに分かれて活動しました。気仙沼で草刈りをするグループと、イチゴ農家の整枝のお手伝いをするグループに分かれました。

本日の、整枝作業の様子です。



A君の分かち合いより…

(昨日しんどいと言っている人がいたが)慣れるとある程度楽だった、農家の方が「1mの津波が来たよ」と言ったのには、驚いた。

ベースへの帰途の途中、線路の跡というか、鉄道の土手の跡があり、怖かった。

4日目は5グループに分かれました。

お茶っ子

お茶っ子と、障害を持った方と遊ぶ

農地の石拾い

漁業用の網の掃除

昆布を結ぶ

それぞれにそれぞれの楽しさ、難しさ、重要さ(その他書ききれません)があり、それぞれの場所で、いろいろな人との関わり合いが持てたようです。

石拾いの風景です。



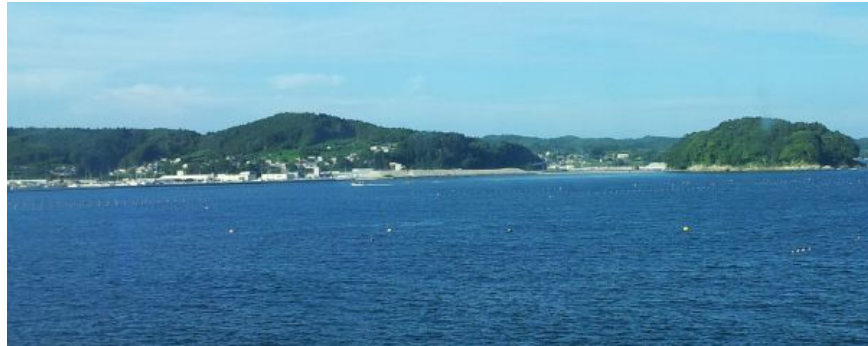
津波の被害を受けた農地は、塩のために、作物が育つのに適しません。そのため、重機で土を削り、山から土を持ってきたそうです。ところが、石・砂利等お構いなしに土を持ってきたために、石のごろごろする農地になってしまいました。この状態から、人手で石をできるだけ取り除いていく…という作業でした。午前中だけで、この量…



聞いた話では(おぼろげな記憶ですが)、復興支援の予算を年末に使い切ろうとするために、短期間で済まされた土地が多く残ってしまったとか。農地を作る段階でもっと石を取り除いていけば(石を取り除くにお金を使っていれば)農家の方が苦勞しなくても良かったのでは…ということで、中途半端な支援も後に課題を残してしまうのですね…。

他の場所の生徒の感想等は、後日お送りします。

少し高い場所からの海の様子を…



5日目は2グループに分かれて活動しました。1グループは5年間放置され、荒れた農地の復旧支援を、もう1グループは、お茶っこと、子供たちとの触れ合いを行いました。

農地復旧の様子です。



左上、青線で囲んだところが、5年間人手が足りなかったため放置せざるをえなかった土地に、草が生い茂った様子です。草刈後が中央、赤線で囲ったところです。

草刈をしても地面にビニールが張っており、また、太い草の根が深く残っているため、耕運機を使うことができません。手前の方は作業が進んではいますが、これでも根が残っています。

最終的には、次の写真の中央のような状態にしていきました。



これで、漸く機械で耕すことができるようになりました。人手でないと不可能な、重労働でした。土地の人の感謝の言葉、喜びに満ちた顔が、忘れられません。

最後に、C隊の集合写真です。



それぞれ、精一杯ボランティア活動をすることができました。

5人の感想です。

O君

今回の活動で、一番強く感じたことは何かをしてあげるということではなく、何かをしてもらったことの方が何倍も大きかったという事です。

お茶っこであれば、ためになる話をいろいろ聞けたり、漁業支援などの活動では、関係者の方が差し入れを

くれたりして、とても感謝の気持ちでいっぱいです。

K君

今回のボランティアを通して、復興に対する現地の人たちの前向きな態度や温かさを感じました。また機会があれば積極的にやりたいと思います。

Y君

震災からずいぶん時間がたっているのに、未だに復興はあまり進んでいないのだなと思いました。目に見えるものだけでなく、心の復興もまだ終わっていないのだなと思いました。また来年もボランティアに参加したいです。

A君

4日間で肉体労働とかを「これぞボランティア」と思っていたけれど、この4日間で「これもボランティア」と思うようになりました。

自分たちは何も役に立たないと思っても、被災地の皆さんは、きっと、きてくれるだけで嬉しいので、皆さんもぜひ東北に行ってみてください。

M君

ボランティア活動の中で、子供たちと触れ合った時に、ありあまっているエネルギーをきっちり使い果たせるような遊べる環境が整っていないのを感じて、少しでも早く、土地の整理がもっと進めば、子供たちが明るく元気に過ごせる場所になるのかなと感じました。また参加したいです。

5人とも、いろいろ経験し、実り多いボランティアとなったようです。支えて下さったすべての方に感謝して報告を終わります。

◀ Tag 行事, 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

伝えてもらいたい…変えていってもらいたい…

2015年08月11日

丸山先生から…D隊最後の報告です。

奇しくも今日は川内原発が再稼働される日となりました。

「**伝えてもらいたい、変えていってもらいたい。**」という、見えない敵（放射線）と闘っておられる南相馬の方々の熱い期待にどう応えるのか…

2学期に生徒たちに会うのが楽しみです。

.....

D隊はこれで最後になります。

毎朝のラジオ体操に参加し、掃除をしてからベースを後にしました。

本当に多くの方のお世話になりました。



活動を通じて強く感じたのは、若者に対する周囲の方々の熱い期待です。

どこに行っても「**高校生に是非知ってもらいたい、伝えてもらいたい、変えていってもらいたい。**」というメッセージをいただきました。

彼らもしっかり受け止めてくれたと思います。彼らのこれからに期待したいと思います。

◀ Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

D隊は南相馬…音楽会♪

2015年08月10日

昨日も小高での作業でした。個人宅の活動の様子は写真撮影ができません。引率の丸山先生からです。

.....

社協のボランティアセンターを通して、2軒のお宅で活動しました。いずれも家財道具の屋外搬出でした。酷暑の中、本宅や納屋にある多くの物を搬出し分別して廃棄するのは大変でしたが、皆よく頑張りました。廃棄されるものの中にはご家族の名前が書かれていたりして、思い出深い品も捨てざるを得ない状況に胸が痛みました。

明日はいよいよ研修最後の日。ベースを去る我々のために夕食後スタッフの方がミニ演奏会を開いてくださいました。



原町ベーススタッフの山田さんのギター、来訪者の高木さんのリコーダーによるデュオの演奏、そこに本校のM君も乗せられてキーボードで加わり、すばらしい演奏になりました。シスター達もうっとり聞いていました。

Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

D隊は南相馬市小高区です…

2015年08月09日

南相馬市でもっとも南にあり原発に近い小高（おだか）区、隣接するのは双葉郡浪江町です。昨日の丸山先生の報告は小高区からでした。2年前は線量計をもって入ったのですが、今はどうなのでしょうか…

.....

東北ボランティアD隊(南相馬) 4日目

今日は、社会福祉協議会のボランティアセンターに行き、避難指示解除準備区域にある一軒のお宅で、草刈り・ビニールハウスの解体などを行いました。大きくて立派な家でしたが、避難指示のため4年間帰還できておらず、草が生い茂っていました。まだ先の見通しは立っていません。



今回いっしょに活動したカリタスの皆さんとのショットです。

◀ Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

残暑お見舞い…??

2015年08月08日

夏休みも前半終了…フィリピン組も帰ってきました。(昨日までの「学校便り」をご覧ください)

東北・東京・広島…それぞれ色々な場所で、かけがえのない『体験』そして『内省』をしているようですね。
IPの基本精神『体験』→『内省』→『実践』…どのように『実践』していくのかをしっかりと考えてください。

暦の上では今日は『立秋』、今日から残暑お見舞い…となりますが、まだまだ酷暑が続きそうです。クラブに汗を流す生徒たちは十分気をつけてください。

.....

さて、南相馬のD隊引率の丸山先生から報告が入りました。

今日は仮設住宅に住む障害者方の引っ越しの手伝いをしました。

分ち合いでのT君の話

障害を持つ方のことを考えながら、引越し先の家で、どこに何を置いたらよいかかわからず、自分の経験のなさを実感しました。



依頼主に頼まれて、飼い犬の子ビの散歩を担当したM君の話
人間だけでなく、震災で、犬もストレスを抱えていることがわかりました。



ボランティアに来ている方で、パレスチナへ何度も行かれている白山さんという方から、夕食後に、パレスチナ難民についての熱いお話を伺いました。



◀ Tag 2015年8月, 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習14日目

2015年08月07日



現地紙の一面紙面です。遠くマニラにあって、8時15分に皆で黙祷してから1日が始まりました。





午前中は、モンテンパ刑務所を訪れました。最初に職員の方から説明を受けました。アジア・太平洋戦争後、日本人の多くがここに収容され、極刑に処せられました。





施設の片隅には、70年前、この地で命を落とした日本人の慰霊地があり、皆で祈りを捧げました。



午後は、佐藤神父様（フランシスコ会）の案内で貧民街を訪問。住民の方とゆっくりお話する機会をいただきました。写真のご家族は3畳一間程度の2階建ての家屋に2家族8名で生活されていました。「家族と神様と一緒にだから、私達はいつでも幸せです」と目を輝かせながらお話され、自分たちの価値観が大きく揺さぶられました。

全ての研修を終え、今晚無事に広島に帰ってきました。

◀ Tag 行事, 2015年8月, 生徒の活動

[詳細を見る](#)

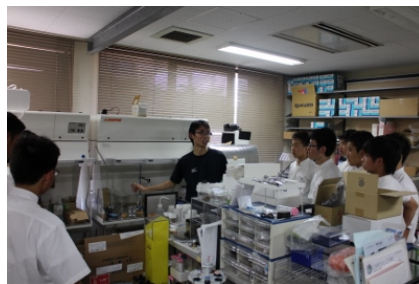
高校1年(57期) 東京研修

2015年08月07日

例年、高校1年生は夏のこの時期に東京研修に行っています。今年も8月3日～5日の日程で研修がありました。実際に行ってきた生徒の話や、たくさんもらった写真を見て、非常にいい経験と刺激を受けてきたんだなということを感じました。



↑学院OBに案内してもらい、東京大学の見学をしました。



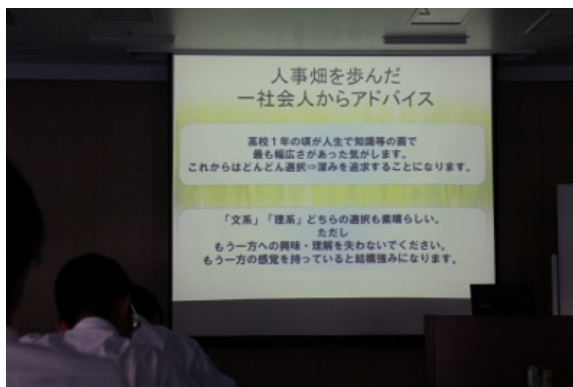
↑研究室にも案内してもらいました。理系の生徒にとっては、クリーンベンチなどの装置やサンプル保存用の低温室などの設備はわくわくしたのではないのでしょうか。



↑官庁訪問ということで、学院OBの方に国会議事堂内にも案内していただきました。



↑その他、企業見学ということで、様々な企業に勤めておられる学院OBの方に会社内を案内していただきました。



↑色々な写真があり、全ては紹介できませんでしたが、実際に社会に出て働いていらっしゃる先輩方からこれから大人になっていく高1生に向けて様々なメッセージを頂きました。研修でお世話になったOBの皆様、本当にありがとうございました。

◊ Tag 行事, 2015年8月, 生徒の活動

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習13日目

2015年08月07日

早朝、ホストファミリーにお別れをつけ、ナガからマニラへ移動しました。午後は、まず、Missiomy of charity（神の愛の宣教師会＝マザーテレサの修道会）を訪問しました。ナガでの経験を生かし、対等な人間として寄り添う姿勢を心がけました。



その後、スモーキーマウンテンに移動。ここでは、マニラ首都圏のゴミ集積所があったところで、ゴミが自然発火していたところから、その名がつけました。かつてはここで多くの人々がゴミを拾って換金しながら生活していました。スカベンジャーと呼ばれる彼らはもはやここには住まず、新たなゴミ集積所へ移動している人もいます。そして、ゴミが山と化したこの場所では、有機野菜の栽培など新たな営みが始まっていました。

◀ Tag 行事, 2015年8月, 生徒の活動

[詳細を見る](#)

除染後の巨大な袋が…

2015年08月07日

東北ボランティア…米川ベースのC隊と並行して、D隊の福島県南相馬での活動が始まりました。引率の丸山先生からの報告が届きました。

被災地ではあちこちで除染活動が行われています。



汚染土が入った黒い巨大な袋が延々と積まれています…これが現実です。
 同じ東北の被災地でも、宮城と福島を抱える問題は違っています。

.....

南相馬市の原町ベースの近く…仮設住宅のサロンです。
 現地の方々といっしょにストラップを作りながら、被災当時の話を伺いました。



◁ Tag 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

福島の子もたちと…

2015年08月06日

現在、福島の小学生を招いて周防大島でキャンプが行われています。

今日は生物部の生徒がお手伝いをさせていただきました。



3艘で出漁し、**アジやチダイなど200匹以上の釣果**があり、子どもたちは大喜びでした。
 生物部の生徒は、子供たちが釣りまくる魚から針を外すのに大忙しでした。



度重なる解剖の成果か??…慣れた手つきで小学生に調理を教えます。

貴重な経験をさせて頂いた安下庄の皆様、ありがとうございました。

Tag 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習12日目

2015年08月05日

今日がナガの滞在、最後の日でした。授業後、全校生徒でFarewell waveでお別れをしていただきました。



Tag 行事, 2015年8月

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習11日目

2015年08月04日

今日は終日、アテネオ・デ・ナガ高校の授業に参加しました。





広島学院の奨学生9名とその保護者が挨拶に来てくださいました。客室乗務員、弁護士、公認会計士など将来の夢を目を輝かせながら話ってくれました。



夜は、ホストファミリー・学校関係者によるフェアウェルパーティーを開いていただきました。



すっかりマジシャンとして有名人になったK君は、アテネオ・デ・ナガ大学のジュン学長の前で手品を披露し、大喝采！



この日のYOSAKOIもキマった！！



◁ Tag 行事, 2015年8月

[詳細を見る](#)

中2キャンプ4日目

2015年08月04日

4日目はキャンプ場の清掃をして、帰ります。



久しぶりの自宅はどうだったでしょうか？

◁ Tag 行事, 2015年7月, 日常

[詳細を見る](#)

中2キャンプ3日目

2015年08月04日

3日目は牛尾神父司式のミサで始まりました。祈りの時間です。



朝食は、ごはん、味噌汁、スクランブルエッグ、ベーコンです。



午前には、お楽しみ講座です。ゴルフ講座や、秘密基地を作る講座がありました。



ゴルフの打球はどこへ…。秘密でない秘密基地建造中

午後は、作ったかまどで、飯盒炊爨・焼き芋作りでした。おいしくたべられましたか？



◀ Tag 行事, 2015年7月, 日常

[詳細を見る](#)

2000km漂流したポスト&B隊終了

2015年08月03日

東北ボランティアB隊 4日目…



昨日の活動のようすです。

漁業支援ではホタテのピン抜き、そして三陸産昆布を用いた昆布巻き作りの作業をそれぞれ行いました。



午後からは、歌津町の夏祭りに連れて行っていただきました。日曜日ということもあって、多くの人々が祭りに訪れ、町が活気づいている様子を体感することができました。少しずつ復興が進んできていることが実感できた瞬間でした。



以下、I君の振り返りからです。

今日、仕事の間昨日準備を手伝った夏祭りに行く機会をいただきました。実際に自分のやった活動が、人の役に立っていることを実感して嬉しかったです。また、今日も屋台の手伝いなど多くのボランティアさんが働いているのを見て、まだまだ多くのボランティアさんの手伝いが必要な事も感じました。

そして、この夏祭りでは、かつて歌津町のセブンイレブンに設置してあり、震災の津波によって流され、沖

縄の西表島にたどり着いたというポストを目にしました。

2000キロ以上も漂流して旅をしたポストが南三陸町に戻ってきたということで、沖縄と東北の絆ができた証を皆でお祝いするセレモニーがありました。

.....

東北ボランティアB隊 5日目

ついに最終日となりました。

今日は2つのグループに分かれ、どちらも漁業支援でホタテ養殖に使う縄についてのピン取り作業、



もう一つは牡蠣の洗浄、選別作業でした。



以下、N君の振り返りです。

今日はホタテ養殖に使う縄のピン取り作業を行いました。現地の人から飲み物や差し入れを頂き、とても楽しく行うことができました。

4日間を通じて感じた事は、ボランティアを支えてくださる人の存在です。朝食、夕食などはベースのスタッフさんがやってくださり、現地の方は優しく僕達を迎えてくださり、作業の仕方を丁寧に教えてくれ、また、とても僕達の事を気遣っていただきました。本当にお世話になりました。**ボランティアをする側もたくさんの人に支えられてできるんだ**ということを学べてよかったです。



この4日間、とても暑い毎日でしたが、誰一人として怪我をしたり、体調を崩したりすることなく、元気に過ごすことができました。

明日の朝出て、夕方から夜にかけて広島に到着する予定です。

次に続く**C隊の皆さんも頑張ってください!**

Tag 2015年8月, 日常

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習9日目

2015年08月02日

今日は、国立公園内の滝まで、トレッキングしました。山の中腹に位置するジオパーク内は、フィリピンとは思えないほど冷んやりしていて、気持ち良い半日を過ごしました。



トレッキング後は、明日日曜日を含めて、ホストファミリーデー。各家庭で思い思いに過ごす予定です。

私達教員は、昨年度、広島学院に来て下さったキング先生のご自宅で開かれたホームパーティに招いていただきました。先生のご自宅には、来広中の写真や保護者からいただいた書が大切に飾られていました。



◀ Tag 行事, 2015年8月

[詳細を見る](#)

男子校の同窓会？ & 東北B隊

2015年08月02日

男子校の同窓会は…男ばかり…と思いきや…



昨夜は卒業十周年記念の44Kのお母さんの同窓会に呼ばれました。

息子たち（28歳くらい）も就職や結婚でそれぞれの人生を歩む中、子育てを終えたお母様方の、それぞれの新たなチャレンジには目を見張るものがありました。

いつまでも学院ファミリーの一員ですね。
 これが『最後の集い』ということで集まったのですが、なんと、次回の開催の約束をして閉会しました。
 楽しい会をありがとうございました。

.....

東北ボランティアB隊 3日目

今日は2つのグループに分かれました。

一つは入里前商店街夏祭りのための準備活動です。駐車場の会場整備、テント設営などを炎天下の中でしっかり頑張りました。



以下、S君の今日の振り返りからです。

今回は、上の写真のように南三陸町のお祭りの準備作業に参加させていただきました。
 ただ苦勞の一言で、肌が魚肉ソーセージのように！！腕と首の裏がピリピリしてしまって…



そして、午後の作業は小学校の校庭に作る駐車場の線引きを。そこには天皇皇后両陛下のお見舞いの碑が。
 その前には南三陸の海があり、そこで住民の方がどんな思いをされたかと思うと鳥肌が立ちます。
 その気持ちを忘れず、引き続き作業を続けていきたいと思ひます。



もう一つは昨日に引き続き南三陸町ボランティアセンターで、一般廃棄物の処理でした。このリーダーの方は震災復興を願って本州を歩いて4000キロ以上旅をしたことがあるなど、人生経験豊かな方で、休憩時間毎に私たちにいろいろな体験談を話していただきました。J君はとてもその話に感銘を受け、目を輝かせていました。

◀ Tag 日常, N.K.

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習8日目

2015年08月01日

7月31日…今日は、聖イグナチオ・ロヨラの祝日ということで、アテネオデナガ大学では盛大なミサが行われました。





広島学院は毎年、夏休みなので、学校としてイグナチオの祝日をお祝いすることはしていませんが…世界のイエズス会学校では如何にイグナチオが敬愛されているのかを肌で感じることができました。午前中は、Missionary of Charity (神の愛の宣教師会 = マザーテレサの修道会) の運営するGift of Love という施設に行きました。ここでは、身寄りのないお年寄りや子ども達をシスターやボランティアスタッフがお世話をしています。



入所者の方々からはもちろん、献身的に働いておられるシスターのお姿から、受け取るものは多かったです。

◀ Tag 行事, 2015年7月

[詳細を見る](#)

フィリピン体験学習7日目

2015年08月01日

午前にはバゴンシランという農村共同体のお手伝いをさせていただきました。機械を買うことができず、共同で田畑を耕しながら技術・利益を分け合いながら生活している団体です。





午後はMissionary of the poorの運営する2施設を訪れました。
 障害者施設。abandoned people…と呼ばれる人々を前に、自分たちの無力さを痛感。それでも自分たちに何ができるのか、人間の尊厳とは何か等を考えました。答えはできません。



児童施設





この施設の建物は、本校の年末街頭募金をもとに建設されました。



6家族を訪問しました。




◀ Tag 行事, 2015年7月

[詳細を見る](#)

[次のページへ](#)

▲ [ページの先頭へ戻る](#)

 **広島学院中学校・高等学校** 〒733-0875 広島市西区古江上1-630 TEL:082-271-0241 / FAX:082-271-6784

[サイトマップ](#) [サイトポリシー](#) [プライバシーポリシー](#) [アクセス](#) [お問い合わせ](#) [リンク集](#)

Copyright (C)学校法人上智学院 広島学院中学校・高等学校, .All Rights Reserved.